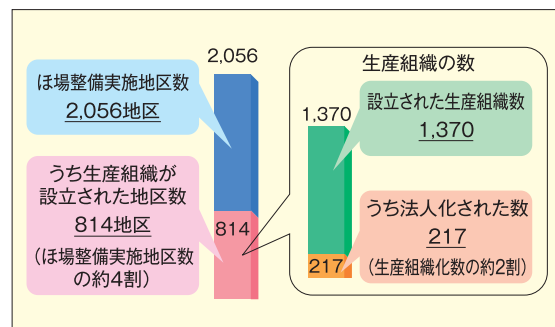


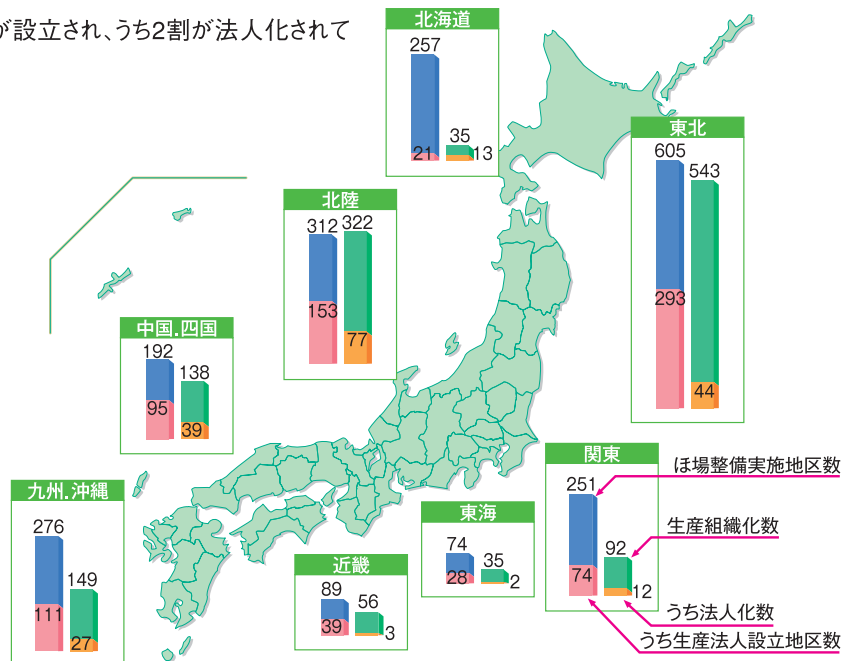
ほ場整備を契機として経営の組織化・法人化の促進が図られています

農家の減少や高齢化の進行の中で、農地を担い手に集積し経営規模の拡大を図る構造改革の推進が必要となっています。そのためには、面的なまとまりを重視した農地の利用集積の加速化や組織化・法人化の契機となるほ場の大区画化等の推進が不可欠であり、これまで、事業実施地区の約4割で生産組織が設立され、うち2割が法人化されています。

ほ場整備等を契機とした生産組織の設立状況(全国)



(平成17年6月時点調べ)



資料:農林水産省作成

トピックス 耕作放棄地の解消に向けた取組が始まっています

基盤整備による耕作放棄地の解消

農地環境整備事業

中山間地域における耕作放棄地を含む区域を対象に、区画整理等の基盤整備を実施することにより、耕作放棄地の利活用と優良農地の生産性向上を図る事業です。



事業実施後

鳥獣被害防止への取組

鳥獣被害防止特措法

農林水産省では、鳥獣被害が営農意欲の減退をまねき耕作放棄地発生の原因の一つとなることから、平成20年2月に鳥獣被害防止特措法を施行しました。本法に基づいて、箱なわの導入、緩衝帯の設置などのソフト面の取組、防護柵の設置などのハード面の取組を行う際には地方交付税措置が適用されます。

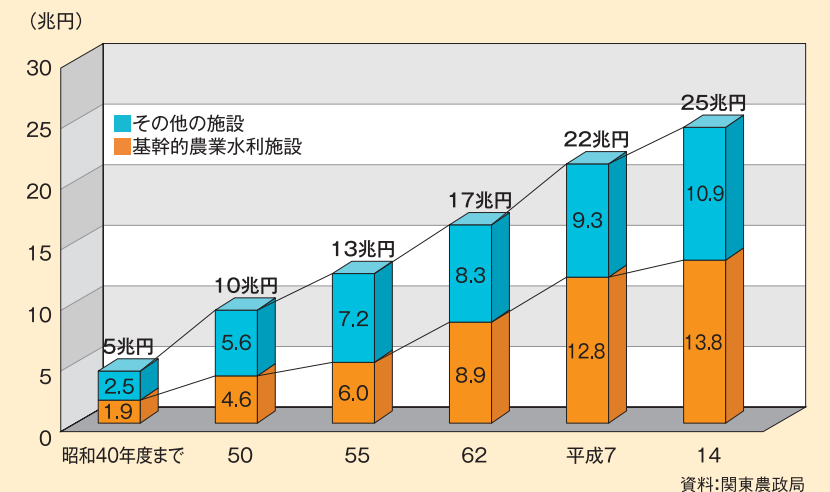


(写真提供:中国四国農政局)

トピックス より効率的な施設整備を目指して ~ストックマネジメントの推進~

農業水利施設は、25兆円もの資産価値

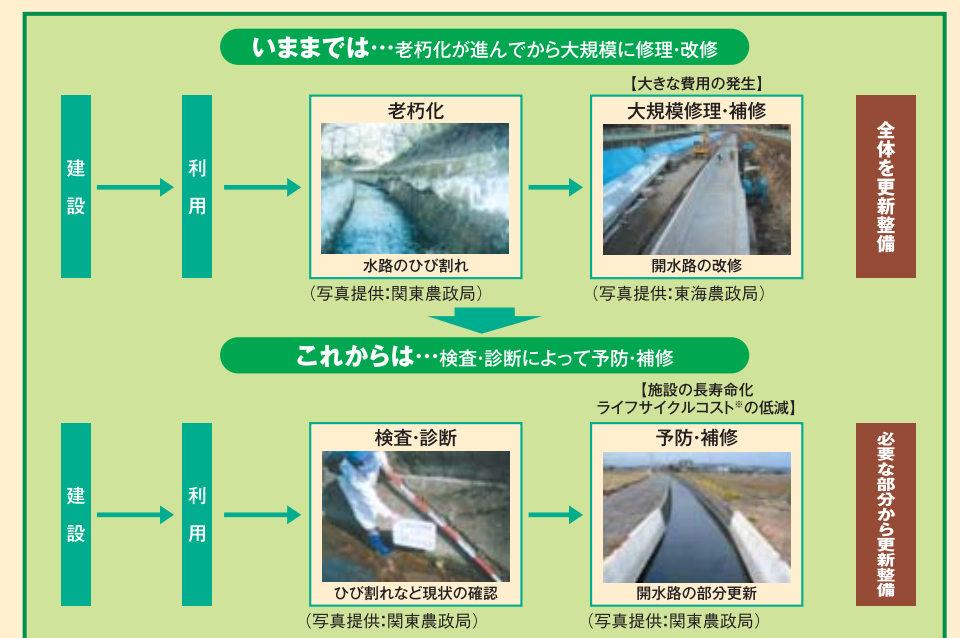
わが国でこれまでに、営々と築かれてきた農業用水路の延長は約40万km、ダムなどの基幹的農業水利施設は約7千ヶ所にものぼります。これらの農業水利施設は、約25兆円の資産価値があると試算されています。国民の財産ともいえるこれらの農業水利施設の機能を守っていくことが今課題となっています。



資料:関東農政局

農業水利施設の長寿命化へ

農業水利施設の機能を永く維持させるため、農業水利施設の機能を定期的に診断し、その診断結果に基づいて施設の長寿命化の対策を行う取組である「ストックマネジメント」が推進されています。長寿命化対策では、施設が機能を失うまでの一定期間内のライフサイクルコストが最小になるように検討を行います。



ストックマネジメントの波及効果

農業用水への理解促進

ライフスタイルが異なり、農業を知らない農家以外の住民も交えて、ストックマネジメントを通じた農業用水の改修・補修の検討を行うことにより、集落の歴史や水路開発の由来、水路の役割など、農業への理解が深まる効果なども期待できます。

